

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email:gakko@jpschool.cz

No.886 2017/5/11

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

挨拶(あいさつ)は学びあいの第一歩

(朝会校長講話)

【一番かしこくなる方法】先月の生活目標は「挨拶をしましょう」でした。この1か月で、小学部1年生は、とってもよく挨拶ができるようになりました。これは、先生から「挨拶をしましょう」と教わっただけでなく、学校の中で上級生が自然に挨拶をしている姿を見せたからだと思います。学校は、先生から教わるだけでなく、みんながお互いに教えあったり、学びあったりする場所です。お手本を示すというのは、わかりやすい学びあいの例ですね。勉強したことが一番頭に入るのは人に教えることだという研究があります。最も頭に入らないのは、授業をただ聞いているだけの時です。逆に、一番いい勉強法は、人に教えることなのです。本を読んで知ったことを、お友だちに説明すると、とってもよく記憶に残ります。人に教えられるということは、知識がしっかり自分のものになっているということです。お互いに教えたり、教わったり、見本になったり、見習ったりと、これが「学びあい」です。さて、校長先生は、挨拶は学びあいの第一歩と考えています。



【挨拶で親しくなろう】最近、学校の近くを歩いているとチェコの子ども達に「ドブリーデン!」と挨拶されました。また、花屋さんに行ったら、突然チェコの夫人から「ドブリーデン」と声をかけられました。はてな?と考えると、実はチェコの学校と交流したときに、その学校の子ども達や先生と顔なじみになっていたんだと気づきました。チェコの学校に行って、「ドブリーデン」だけの交流だったのに、心と心が通い合って、親しくなれたのです。そんな「親しみ」をつくるのが、挨拶です。みんなが一番たくさん出会っているチェコの人は誰かな?そうです、ガードマンさんです。朝の挨拶「ドブリーデン」で親しくなりましょう。

【挨拶は出会いのきっかけ】二つ目の挨拶の良さ。飛行機で隣に座った見知らぬ人と話したことはありますか。列車の旅で個室部屋で居合わせた知らない人と話したことはありますか。先生はいつも挨拶が出会いのポイントだと考えています。とりあえず「ハロー」「ドブリーデン」「こんにちは」。すると心が打ちとけてきます。挨拶は、出会いの時の最初のきっかけです。

【挨拶は元気の素(もと)】最後は、みんなのようにいつも一緒にいる人たちにとっての挨拶の良さです。朝いちばん「おはよう!」を言われた人は元気をもらえます。「おはよう」って言った人も元気になります。朝、家でけんかをして学校に来た人がこの中にいませんか。でも、お友達から「おはよう!」そして自分からお返し「おはよう」で、アッと言い間にやる気が戻ってきます。挨拶は、元気の素(もと)です。

さて、運動会が近づいてきましたね。たくさんのお話を運動会の練習を通して勉強します。学びあいの練習でもあります。そして、学びあいがうまくいくには、実は毎日の挨拶!運動会を成功させるためにも、挨拶をしましょう!

緊急下校訓練

今年度最初の緊急下校訓練です。いざという時に備えてご協力よろしく
お願いいたします。

